

2019年4月15日

スズキが検査問題で特損計上——ガバナンスの改善を注視

スズキ（証券コード=7269、発行体格付=A）は12日、2018年に発覚した国内の不適切な完成検査問題に関して、外部専門家による調査結果を公表した。四輪車について、検査補助者による単独の検査実施や保安基準への適合性の確認が不適切だった恐れが新たに判明した。このためリコールを実施する予定で、2019年3月期に約800億円の関連費用を特別損失に計上する。リコール対象は200万台程度になる見通し。また今後5年間で、再発防止や品質・安全向上のために1700億円規模の投資も行う。

スズキは小型車や軽自動車を得意とし、インドと日本のほか、欧州や東南アジアにも事業を展開する。低コスト生産を背景に高い収益力・キャッシュフロー創出力を持つ。今回のリコール費用や再発防止の投資を考慮しても、良好な財務基盤を保てよう。この先、国内販売への影響に一定の注意を要するが、自動車の性能に問題が生じたわけではない。一方、インド事業は乗用車市場でシェアトップの地位を確立しており、全社利益の柱となっている。全体の収益基盤や収益力が揺らぐとはみていない。

コーポレートガバナンスについては改善が必要だ。2016年にも燃費測定の問題が発覚しており、コンプライアンスを強化したはずだったが、対策の効果が十分ではなかったといえる。再発防止策として、検査の体制拡充や経営陣による品質保証へのコミットメント強化などを掲げている。老朽化した検査設備の更新も検討する。こうした取り組みが成果を上げていけるか注目していく。

主任格付アナリスト：永井 荘一郎

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。